

# 栃木県水泳連盟主催の競技会における感染拡大予防対策について

栃木県水泳連盟

螺良 昭人

運営上の感染予防対策として日本水泳連盟の「水泳競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」を参考に各施設とも協力し行います。

以下は大会開催の際の感染予防のためにしていただくことのチェックリストです。よく読んで感染予防への協力をお願いします。

## 水泳競技会の感染拡大防止策チェックリスト 【選手・コーチ・大会関係者が順守すべき事項】

### 1 入館前

- 入館前2週間において、以下の事項に該当する場合は、入館を見合わせる事。
  - ・平熱を超える発熱
  - ・咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
  - ・だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）
  - ・臭覚や味覚の異常
  - ・体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
  - ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
  - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- 選手・コーチ・競技役員は「チェック表」に必要事項を記入し、持参すること。持参しない場合は大会に参加できない。
- 参加チームは「当日利用者名簿」に必要事項を記入し、持参すること。※引率者も記入。
- チーム引率者は「チェック表」と「当日利用者名簿」を確認してとりまとめ、当日県水連に提出すること。上記の症状のある者は参加させないこと。
- できるだけ現地集合・現地解散とすること。チームバス利用は極力控えること。
- 入場待ちの時間はマスクを着用し間隔を空け会話を控えて待つこと。引率コーチは選手が早く集まらないようにと密集しないよう指導してください。
- 各チーム、アルコール消毒等を用意し入館時に所属選手に消毒をさせてから入館させること。
- 各チーム、マスクの予備を用意してください。選手が忘れた・失くした場合のため。

### 2 水泳場

- 観覧者の入場は状況により判断する。

- 体調が悪くなったら、すぐにコーチ・競技役員に知らせること。
- 入館から退館時までの全ての場面で人との距離（できるだけ2 m以上、最低1 m）をとって行動すること。
- アップ時に各レーン内で順番待ちをする場合やダッシュレーンで並ぶ場合も距離を保つこと。
- 選手控え場所は間隔を空けて使用すること。
- 更衣室は着替えのみに使用し速やかに着替えて滞在時間を必要最小限とすること。朝のウォーミングアップ等で混雑が予想される場合においては入室の人数制限（グループ分け）を行う。
- 更衣室のドライヤー使用はしないこと。
- 引率者はチームに選手控え場所・観覧席・更衣室の利用方法を周知し徹底すること。
- 泳ぐとき以外は原則的にマスクを着用すること（更衣室・招集所・選手控え場所・観覧席・プールサイド・トイレなど）。招集もマスクを着用する。熱中症に留意し、マスクをとる場合は、周りの人との距離を十分に保つこと。※マウス・フェイスシールドも可
- レース前にはずしたマスクは服のポケットか袋に入れること。マスクと袋には名前と所属名を書くこと。マスクは、選手イス・脱衣ボックスに直接置かない。
- 服を入れる袋を持参すること。（レース時、袋に衣服・マスクを入れ、脱衣ボックスに入れる。直接入れない）※メーカーのロゴマーク大きさに注意（20 cm<sup>2</sup>以内）
- こまめな手洗い、会場に設置および各所属で用意したアルコールによる手指消毒を実施すること。
- 選手は招集所での選手間の会話、レース後の選手間の会話を控えること。
- 選手はレース終了直後にコーチのところに行く場合においては息が整った後にマスクを着用してから向かうこと。
- 大きな声での会話や応援をしないこと。コーチは練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。
- 唾や痰を吐くことは極力行わないこと。
- 飲食についてはできるだけ単独でとること。複数で食事をする場合はできるだけ広がって距離をとり対面とならないようにし会話を控えること。
- ドリンクの回し飲みはしないこと。
- 飲みきれなかったドリンクは捨てずに持ち帰ること。
- 選手はできるだけ自分のレース終了後速やかに退館すること。
- ミーティング等は控えること。
- チーム全体で退館するのではなく、自分のレース終了後に個々に退館する。
- 県水連・施設管理者が決めたその他の措置・指示について従うこと。

### 3 退館後

- 退館後2週間以内に「新型コロナウイルス感染症を発症した」場合は、県水連に対して、濃厚接触者の有無等について報告すること。